

情報管理の常識を変える 次世代バックアップソリューション「VITA Owl」

従来の情報システムのバックアップ方式が持つさまざまな課題を一挙に解決する「VITA Owl」(ビータアウル)は、お客様のバックアップ運用を劇的に改善する次世代のバックアップソリューションです。高性能ストレージサーバと高機能バックアップソフトを組み合わせ、導入・保守サービスまでオールインワンで提供します。当社が長年培ったバックアップシステム構築ノウハウを駆使し、早期導入・運用開始を低価格にて実現した「VITA Owl」により、お客様の事業継続とTCO(Total Cost of Ownership)削減に貢献します。

従来のバックアップ方式の課題を一挙解決

ビジネスのIT依存度が高まっている昨今、事業継続計画、内部統制、リスクマネジメントなどのキーワードが注目されています。その対策の1つであるバックアップやリカバリの重要性への認識は、企業規模を問わず高くなっています。しかし、バックアップやリカバリの現行の方式には課題もあり、障害発生時のデータの損失や業務の停止に不安を抱く企業も少なくないのが実情です。

当社では、IT基盤を構成するサーバ、ストレージおよびネットワークの統合、情報セキュリティ、ITIL運用管理、IT資産管理の6分野にフォーカスし、包括的な統合IT基盤ソリューション「VITA」を提供しています。今回提供を開始した「VITA Owl」は、ストレージバックアップの分野に特化し、当社が最適なハードウェアとソフトウェアを組み合わせ、導入・保守サービスまでオールインワンで提供するソリューションです。当社独自のノウハウを駆使して、お客様の環境に合わせ低価格にて

提供します。

従来のバックアップ方式では、情報システムの稼動状況やデータ容量などを考慮して、毎日あるいは毎週といった決められたスケジュールでバックアップします。通常バックアップを取得している間はシステムを停止しなければなりませんので、バックアップウィンドウ(バックアップのためにシステムを停止できる時間)が必要となります。そのため大容量のデータをバックアップするには、バックアップウィンドウが足りないという問題が発生します。万一障害が発生した場合、バックアップデータをリストアするとバックアップを取得した時点まで遡ってしまいますので、それ以降に変更されたデータは保護されません。また、復旧作業にも長時間を要し、その間の業務停止による機会損失は計り知れません。

「VITA Owl」は、こうした従来方式の問題点を一挙に解決し、情報システムの可用性を飛躍的に高め、企業の事業継続と

TCO削減に大きく貢献する優れたソリューションです(図-1)。

1秒単位でのリストアと 最短30秒でのリカバリを実現

「VITA Owl」は、(株)バイオスの高性能ストレージサーバと、バックボーン・ソフトウェア(株)のバックアップソフト「NetVault FASTRecover」を、当社がインテグレートしてお客様環境に導入する次世代バックアップソリューションです。標準で3台までのWindowsファイルサーバに対応し、合計約8TBのバックアップを取得できます。CDP(Continuous Data Protection)技術を用いて継続的にバックアップを取り続けるリアルタイムバックアップ機能を搭載しており、サーバに常駐するエージェントソフトがデータの変更をバイト単位で監視して、データ更新の都度バックアップを取得しますので、システム停止の伴うバックアップウィンドウは必要ありません。ミッ

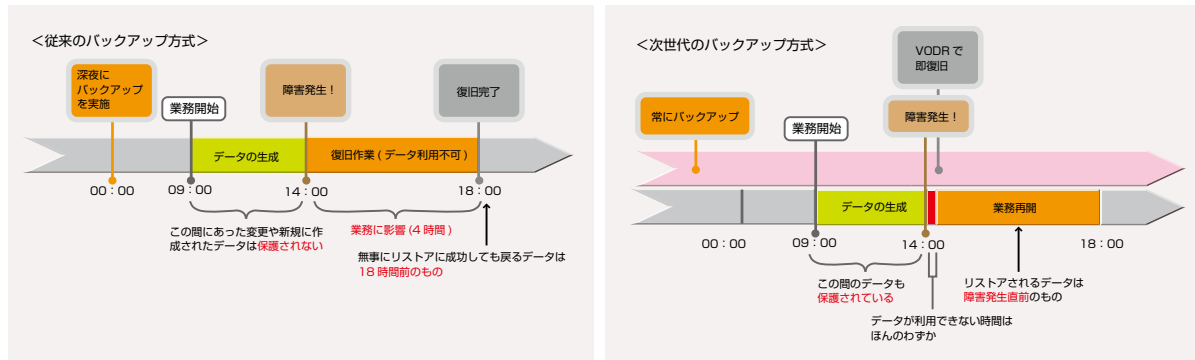


図-1 従来のバックアップ方式と次世代のバックアップ方式

シヨックリティカルな情報システムの大容量データを、無停止でバックアップし続けることができます。

バックアップデータをリストアする際には、APIT(Any Point in Time)機能を用いてファイル単位で任意の時刻の状態に復元できます。データ保護期間内(標準で2週間)であれば、1秒単位でどの時点にで

能なHDDを搭載し、耐障害性に優れたストレージサーバを使用しています。RAID6構成を採用していますので、2台のHDDが故障してもデータ保護できます。さらに不良セクタ検出機能、冗長化された電源ユニットなど、万一のハードウェア障害発生時にもシステムの可用性を確保しています。

「VITA Owl」には、これらハードウェア・

ソフトウェアに機器設定、現地導入・試験、操作説明、3年間のオンサイト保守(ハードウェア)や3年間の

とができます。標準構成だけでなく、追加オプションによるレプリケーション構成への拡張、データ容量やデータ更新頻度に合わせた設定変更も可能です。システム管理者の方への「VITA Owl」操作説明もサービス内容に含まれており、システムの起動・停止やHDD障害時の交換作業方法などを記載した簡易運用マニュアルも提供します(図-3)。

早期導入・運用開始を実現するため、ヒアリングシートに記載されていない部分に、当社が長年培ってきたバックアップシステム構築の経験とノウハウが活かされています。当社が経験したさまざまな導入事例から得た実データをもとに設定パラメータ群をパターン化し、お客様環境に一番フィットする設定内容を当社が選定してセットアップしています。これにより煩雑な設計工程を短縮し、導入にかかる期間と費用を圧縮することができ、従来のバックアップシステムと比べて数分の1(当社比)の低価格での提供が可能となりました。

当社は、お客様の部門に点在しているWindowsファイルサーバのバックアップや、バックアップ運用に課題を抱えている情報システム部門などを対象に、「VITA Owl」を積極的に販売していきます。また

当社は「VITA Owl」のほかにも、IT資産／運用統合管理ソリューション「VITA Stork」(ビータ ストック)と、仮想マシン自動プロビジョニングソリューション「VITA Ibis」(ビータ アイビス)の新ソリューションを取り揃え、今後お客様のビジネスに貢献していきます。

(SIソリューション事業部
田中正弘)

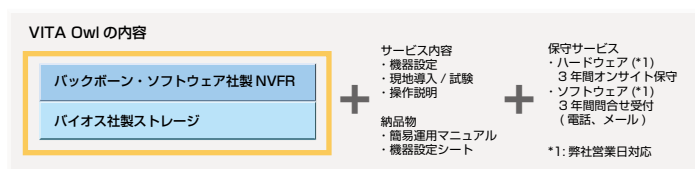


図-2 VITA Owlの構成

も遡ることが可能です。それ以前のデータは、週1回のスナップショットを3カ月間保持しています。バックアップデータを代替サーバにリストアしたり、CIFS(Common Internet File System) View機能を使って、Windowsのファイル共有と同じ要領で「VITA Owl」上のデータをリストアせずに参照することもできます。

「VITA Owl」の最大の特徴は、仮想オンデマンド・リカバリ(VODR:Virtual On Demand Recovery)機能です。従来のバックアップ方式では、データ復元時に全データのリストアが完了するまでデータにアクセスできませんでしたが、VODR機能によって復元データのファイル構造がコピーされた時点で、データにアクセスできるようになります。実際のデータは、バックグラウンドで順次リストアされていきますが、アクセスしたデータを優先的にリストアするため、大容量データをリストアする場合でも、最短30秒で必要なデータにアクセスできます。またVODR機能で復元中でもデータの読み書きが自由に行え、リアルタイムバックアップ機能で保護されます。

「VITA Owl」は、16台のホットスワップ可

電話・メールによるサポート(ソフトウェア)が含まれています(図-2)。

簡単なヒアリングだけで導入、 直ちに運用可能

「VITA Owl」のもう一つの特徴は、導入のしやすさにあります。当社独自のヒアリングシートを用意し、どれを(保護する対象データ)、どのくらい(期間)保護するか、といういくつかの項目に記入・チェックしていただくだけで、当社がお客様環境に合わせて機器に事前設定を施し、現地での導入・試験の後、すぐに運用を開始するこ

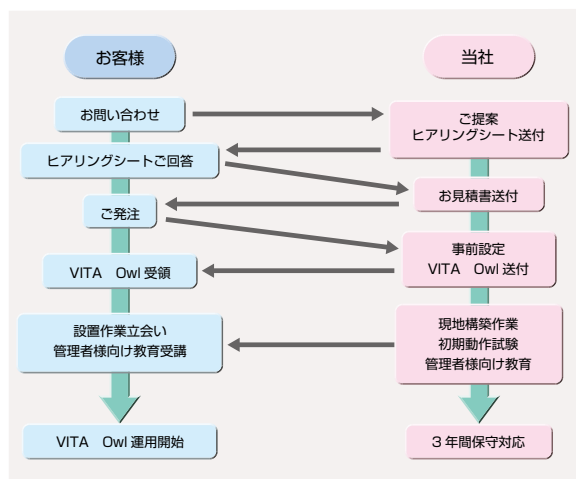


図-3 導入・サービスのプロセス